

大阪府立国際会議場ESCO事業 提案審査の講評

大阪府立国際会議場ESCO事業の提案審査について講評いたします。

本ESCO事業は、国際会議場を対象に提案公募を行ったものであり、3事業者より公募条件を大きく上回る省エネルギー効果が期待できるご提案がありました。

アズビル株式会社、三井住友ファイナンス&リース株式会社のグループは、熱回収スクルーヒートポンプチラー及び付随するポンプの導入、既設照明のLED化や節水器具等の採用に加え、空調機の変風量制御やCO₂制御、電気室空調設備の外気取入量制御などの多彩な空調運転制御を取り入れ、さらに熱源機器の運用構成を抜本的に見直すことで大きな省エネルギー効果を得られるご提案でした。また、補助金が採択された場合には、ターボ冷凍機及び付随するポンプの導入を追加するとともに、既設照明の更新対象をほぼ全域に拡大することで、約34%と極めて高い省エネルギー率を実現するものであり、大阪府にとって非常に有益なご提案でした。

また、株式会社関電エネルギーソリューション、高砂熱学工業株式会社、株式会社きんでんのグループは、水冷スクルーチラー及び小型貫流ボイラを導入し、他の熱源機器も含めた運用構成の見直しを図ることに加えて、既設冷温水・冷却水ポンプのインバータ化、既設照明をLED化するというご提案でしたが、前者には及びませんでした。

事前に公表している審査要領及び募集要項に基づき審査を行った結果、評定点合計の最も高いアズビル株式会社、三井住友ファイナンス&リース株式会社のグループを最優秀提案者とし、株式会社関電エネルギーソリューション、高砂熱学工業株式会社、株式会社きんでんのグループを優秀提案者といたしました。

最後に、多大なるご労力をおかけし、貴重なご提案をいただいた応募者の皆様に、あらためてお礼申し上げます。

平成30年8月28日

大阪府ESCO提案審査会ESCO事業者選定部会

部会長 西岡 真稔